

公益財団法人 マツダ財団

2026年度事業計画書

(2026年4月1日～2027年3月31日)

## 公益財団法人マツダ財団2026年度 事業計画 (2026年4月1日から2027年3月31日まで)

◆マツダ財団の設立趣旨に沿った社会貢献活動を行い、マツダ財団の存在価値を高める。

◆「24中期事業計画」に基づき、事業変革を着実に進める。

当事業年度は、前年に継続して、これまでの歴史・実績を踏まえた既存助成事業の改革を着実に進めると共に、「つなぐ」ことで、支援者の課題解決や新たな価値創造、そして社会実装を強力に支援する存在感のある財団を目指す。

厳しい資金環境の中、業務プロセス変革を進めることで管理費を削減し、中期計画に基づいて拡大した事業を維持・継続させる。事業費総額は、52万円減の **6,053万円** とする。

### I. 科学技術振興関係事業

#### 1. 科学技術振興に寄与する研究助成【助成（応募型）】（全国）

先進性・独創性に優れた基礎研究および応用研究に対し助成を行う。また、若手研究者、萌芽的研究、循環・省資源への重点助成とする。

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| (1) 助成対象研究分野  | ① 機械 ② 電子・情報 ③ 化学系材料 ④ 物理系材料 |
| (2) 助成金総額・件数  | <b>3,000万円・30件</b>           |
| (3) 1件当たり助成金額 | 100万円                        |
| (4) 助成期間      | 1年または2年                      |
| (5) 募集方法・募集期間 | 公募、2026年4月中旬～同年5月末日          |
| (6) 選考方法      | 選考委員会による審査・選考                |

#### <マツダ財団研究助成奨励賞>

マツダ財団研究助成対象の中から各分野1件、優れた研究に対して授与する。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| (1) 副賞(追加助成金) | 50万円/件          |
| (2) 助成金総額・件数  | <b>200万円・4件</b> |

#### <フォローアップ取り組み>

- ・贈呈訪問を行う（全30件）
- ・分野別のオンライン交流会を開催する。
- ・社会実装に向けた産学連携を支援

#### 2. 科学技術振興に寄与する事業助成【助成（応募型）】（中国5県）

科学技術の振興は持続可能な社会の実現には不可欠であると共に、国の礎であるとの思いのもと未来を担う青少年が科学技術に興味を持つことや彼らを育成する活動を助成する。

中でも、高校生の自主活動として、科学に関する探求や科学クラブの取り組みを優先する。

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| (1) 助成金総額・件数  | <b>200万円</b>        |
| (2) 募集方法・募集期間 | 公募、2026年4月初旬～同年5月中旬 |
| (3) 選考方法      | 選考委員会による審査・選考       |

#### <優秀活動賞>

高校生の活動の中から優れた活動に対し、1件授与する。

- (1) 副賞 研究助成の採択者のうちから選択し研究室を訪問できる。  
(2) 選考方法 選考委員による審査・選考

<フォローアップ取り組み>

- ・視察を行う。
- ・オンライン交流会を開催する。

### 3. 科学技術振興に関する講座等の事業実施【講座、セミナー、育成】

#### i. 科学わくわくプロジェクト（広島県）

小中学生や中学生をメインに科学にわくわくする機会を提供し、「科学するところ」を養うことを目指した事業。科学わくわくプロジェクト実行委員会と連携して実施。

(1) 「小中学校理科ひろば」

小中学校で実験の示範授業を行う

- ・実施時期 2026年7月以降
- ・実施場所 要請のある小学校(広島市教育委員会との連携、30校程度)

(2) 「サイエンスレクチャー」

中学生・高校生を対象としたハイレベルな内容の講義

- ・実施時期 2026年度下期
- ・実施場所 要請のある中・高等学校(広島市教育委員会との連携、4~5校)

(3) 「専門家による科学教室(旧ジュニア科学塾)」

中学生(公募)を対象とした科学に関する幅広い内容を発展的、継続的に学習する演習講座

- ・実施時期 2026年度通期
- ・実施場所 未定

(4) 予算総額 70万円

<フォローアップ取り組み>

- ・視察を行う。
- ・実行委員会を対面で実施する。
- ・広報面での支援を行う。

#### ii. 先進サイエンスサロン（広島県）

研究者が自らの研究を一般市民に分かりやすく伝える場を設け、青少年だけでなく、青少年を支える保護者や地域住民が科学に触れることで科学を楽しめる土壌を作る。広島大学との連携。

- (1) 実施時期 2026年度通期  
(2) 実施場所・件数 広島県内 年間2件  
(3) 予算総額 2万円

#### iii. 科学へのいざない（中国5県）

研究助成を行っている若手研究者に、広島県内の高校で科学に関する講義やワークショップを行っていただき、高校生の科学への興味関心、ひいてはアカデミアやエンジニアという将来の選択肢につなげる。

- (1) 対象・方法 助成先の全国の研究者と中国5県の中高・高専

- |             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| (2) 実施時期    | 2026年4月～2027年3月                  |
| (3) 本財団の役割  | ① 開講の企画・推進<br>② 諸経費の負担<br>③ 事例共有 |
| (4) 予算総額・件数 | 21万円・2件                          |

#### 4. 諸経費 **531万円**

4つの事業を企画・推進・フォローするために必要な費用。

科学技術振興関係事業費 計 4,024万円

## II. 青少年健全育成関係事業

### 1. 青少年の健全育成に寄与する研究助成【助成（応募型）】（全国）

「青少年の健全育成」に係る教育現場及び市民活動の活性化に役立つ汎用性の高い研究（基礎的研究を含む）を対象とする。

(1) 助成対象分野

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| ・ボランティア育成       | ・若者の居場所づくり  |
| ・地域連帯・コミュニティづくり | ・自然とのふれあい   |
| ・国際交流・協力        | ・科学体験・ものづくり |

(2) 助成金総額・件数 **400万円・5件程度**

(3) 助成期間 1年または2年

(4) 募集方法・募集期間 公募、2026年4月中旬～同年6月中旬

(5) 選考方法 選考委員会による審査・選考

<フォローアップ取り組み>

- ・贈呈訪問を行う。
- ・オンライン交流会を開催する。
- ・市民活動団体と合同でオンラインサロンを開催する。
- ・終了時に市民活動支援等と合同で成果報告会を開催する。

### 2. 青少年の健全育成に寄与する市民活動支援【助成（応募型）】（広島県・山口県）

青少年健全育成のための地域に密着した活動を支援する。

(1) 助成対象分野

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| ・ボランティア育成       | ・若者の居場所づくり  |
| ・地域連帯、コミュニティづくり | ・自然とのふれあい   |
| ・国際交流・協力        | ・科学体験・ものづくり |

(2) 支援対象地域 広島県、山口県

(3) 支援金総額・件数 **800万円・30件程度**

(4) 1件当たり支援金額 10～50万円

(5) 支援期間 1年

(6) 募集方法・募集期間 公募、2026年10月中旬～2027年1月中旬

(7) 選考方法 選考委員会による審査・選考

＜フォローアップ取り組み＞

- ・全団体の活動視察を行う。
- ・対面での贈呈式を開催する（広島・山口）。
- ・オンライン交流会を開催する。
- ・研究助成と合同でオンラインサロンを開催する。
- ・オンラインセミナーを開催する。
- ・終了時に研究助成等と合同で成果報告会を開催する。

### 3. 青少年の健全育成に関する講座等の事業実施【講座、セミナー、育成】

#### i. 感動塾・みちくさ（広島県）

子どもたちが自然に触れ、体験や実験などを通じて、科学に対する興味を深め、自分たちで創意工夫することにより科学を学ぶ心を養うことを目的に、2施設で実施する。

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 共同事業     | (公財)広島市文化財団との共催  |
| (2) 対象・人数    | 広島市及びその周辺在住の小学校3年～6年、1か所30人程度                          |
| (3) 期間       | 2026年8月  |
| (4) 場所       | (公財)広島市文化財団の青少年活動施設<br>・広島市青少年野外活動センター<br>・広島市三滝少年自然の家 |
| (5) 募集方法     | 公募(応募多数の場合は抽選)   |
| (6) マツダ財団支援額 | 100万円  |

#### ii. 若者×ツナグバ（広島県・山口県）

「社会人になる直前」「社会に出て間がない」若者に対して、「対話」「表現活動」「居場所づくり」等の活動を推進する。そのために、一步を踏み出せない若者を対象としたセミナーや実地体験（市民団体とともに地域活動の企画～運営）を行う活動を支援する。（第3次「若者×ツナグバ」を開始、社会への参画意識醸成）

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| (1) 支援対象地域    | 広島県・山口県                |
| (2) 支援金総額     | 81万円                   |
| ①協働活動支援金額     | 43万円（3回開催）             |
| ②ディレクター・講師料   | 26万円                   |
| ③運営費          | 15万円（印刷費、通信費、旅費交通費等）   |
| (3) 支援期間      | 1年                     |
| (4) 募集方法・募集方法 | 公募、2026年4月下旬～2026年5月下旬 |

＜フォローアップ取り組み＞

- ・終了時に卒業報告会を行う他、研究助成・市民活動支援等と合同での成果報告会に参加する。
- ・他団体の活動を希望される方には、市民活動団体を紹介する。

#### iii. こどもミライクエスト（広島県）

社会的養護が必要な子どもたちに、いつもと違う学習機会、非日常の楽しみを提供し、自身の

好きなこと、潜在能力などに気づく一助としてもらうことを目的に実施する。

- |              |   |
|--------------|---|
| (1) 共同事業     | NPO 法人ほしはら山のがっこうとの共催<br>(広島市児童福祉施設連盟加盟の施設、広島市社会福祉協議会、<br>科学事業助成、市民活動団体等と連携) |
| (2) 対象・人数    | 児童養護施設・母子生活支援施設に入所中の小学生 16名   |
| (3) 期間       | 2026年 夏   |
| (4) 場所       | ほしはら山のがっこう  |
| (5) 募集方法     | 広島市児童福祉施設連盟を通じて募集   |
| (6) マツダ財団支援額 | 100万円   |

<フォローアップ取り組み>

- ・活動視察
- ・参加者アンケートによるPDCA改善

#### 4. 講演会【講座、セミナー、育成】（広島県）

若者の未来を拓くことを目的とする講演会を開催する。

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| (1) 開催場所 | 広島国際会議場 フェニックスホール <予定> |
| (2) 開催時期 | 2026年8月1日（土） <予定>      |
| (3) 募集方法 | 公募(先着順)                |
| (4) 予算額  | 152万円                  |

#### 5. 大学寄付講義【講座、セミナー、育成】（広島県）

社会人、企業人として必要な視点・能力を醸成すべく、広島市近郊の大学に対する寄付講義を実施する。

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 対象・方法  | 広島修道大学 「ディベート演習」全8回<予定><br>県立広島大学 「AI 入門講座」 4日間集中講義<予定><br>比治山大学 「ひろしま学」全3回<予定> |
| (2) 実施時期   | 2026年8月～2027年1月   |
| (3) 本財団の役割 | ① 講義内容の企画・立案<br>② 講師の派遣<br>③ 演習内容の評価<br>④ 諸経費の負担                                |
| (4) 予算総額   | 12万円  |

#### 6. 諸経費 384万円

7つの事業を企画・推進・フォローするために必要な費用。

青少年健全育成関係事業費 計 2,029万円

以上